

工場向け照明器具ラクリーンシリーズ（一般屋内用）

品番 FSA61263 FSA62263 FSA63263

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

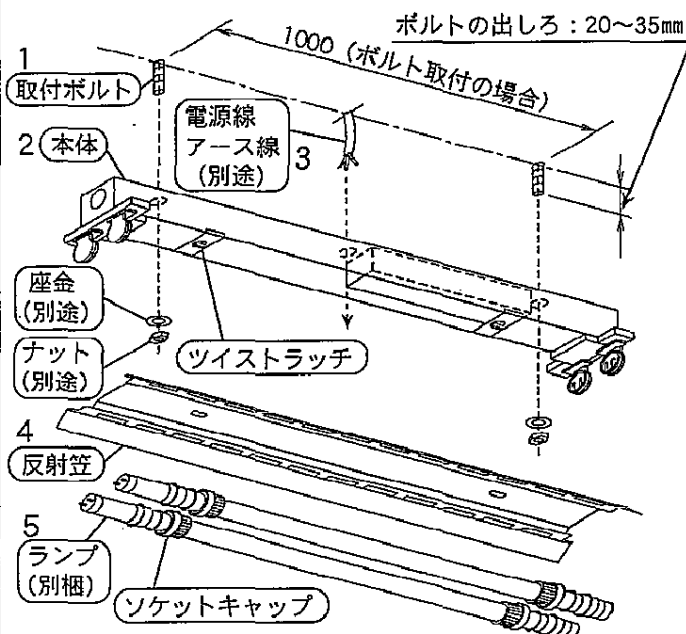
- 施工は、取付方法にしたがい確実に施工する。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 屋内用器具です。屋外や屋側では使用しない。風雨による反射笠落下の原因となります。
- 必ず表示された電源電圧（1灯：100-242V、2～3灯：200-242V）で使用する。感電・火災の原因となります。
- 電源線接続後の絶縁・耐油処理は確実に施工する。感電・火災の原因となります。

注意

- 直射日光の当る場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以内で使用してください。ちらつきや短寿命の原因となります。

各部のなまえと取付け方

*FSA62263の例で説明しています。



1.取付前の確認

- ・器具質量（4.5kg：FSA63263の場合）に十分耐えるよう、ボルト又は木ネジ取付部（ネジ掛かり代）の強度を確保する。取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。木ネジは、丸木ネジの呼び4.1以上を使用する。

不備があると器具落下の原因となります。

2.本体の取付

- ・ソケットキャップ（シリコンパッキン、リング付）をソケットから外す。
- ・電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
- ・電源ブッシングが付いていない電源穴を使用する場合は、必ず電源ブッシングを付け替えてください。
- ・本体を取付ボルトで確実に取付ける。（推奨トルク値：1.5N・m）

不備があると器具落下の原因となります。



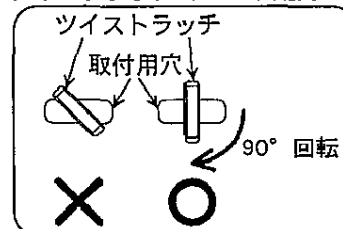
3.電源線の接続

- ・電源線を結線して完全な絶縁処理が必要。
- ・接地端子を使用して、D種（第3種）接地工事が必要。
- ・この器具は、器具内送り配線が可能です。送り配線される場合は、エンド部通線箇所の保護を行ってください。

接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

4.反射笠の取付

- ・ツイストラッチを90°回転して確実に反射笠を取付ける。

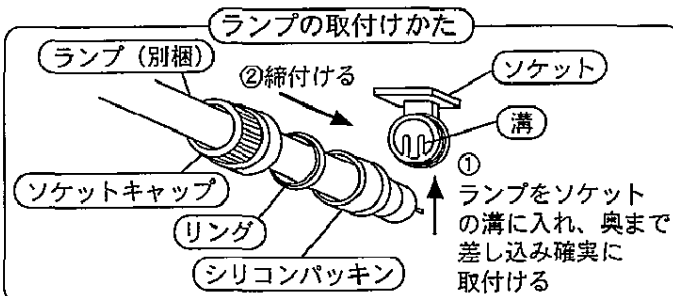


取付けが不完全な場合、反射笠落下の原因となります。

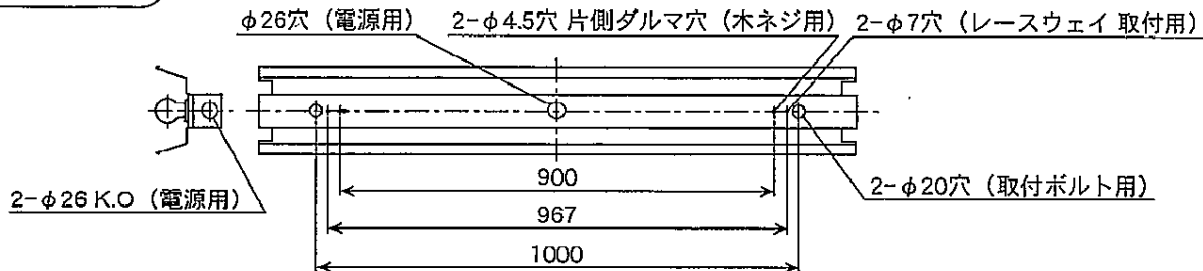
5.ランプの取付

- ・ランプにソケットキャップ（シリコンパッキン、リング付）を取付ける。
- ・ランプを左図のように確実に取付ける。
- ・ソケットキャップをソケットに確実に締付ける。

取付けが不完全な場合、耐油性能が損なわれ、絶縁不良又は感電の原因となります。



器具背面図



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
水または中性洗剤を用いて、汚れた部分をゆっくり軽く拭き取ってください。
- 照明器具には寿命があります。
設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3年に1回は工事店などの専門家による点検をお受けください。
必要な場合は弊社営業所へお申し出ください。(チェックシート番号: CLX2021BA)
点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。
- 間引き点灯禁止です。ソケット通電部の腐食による発熱または火災の原因となります。

使用上のご注意

- ・この器具は自動初期照度補正機能付照明器具です。定格出力の約73%の光束を保つように設計されています。
- ・電源投入から数秒後に調光状態（初期照度補正状態）となります。始動時の数秒間は明るさが異なりますが異常ではありません。
- ・ランプ交換は同一電源回路の器具全て、または器具単位での交換をおすすめします。
2灯用、3灯用器具の場合、1本のみの交換では適正な明るさが得られません。
- ・ランプや安定器のバラツキ、経年変化などにより輝度差、色ムラが若干目立つことがあります但し異常ではありません。
- ・ランプや器具の汚れについては補正しませんので、定期的な清掃をおすすめします。

累積点灯時間のリセットについて

この器具は累積点灯時間を記憶しながら、点灯時間に応じた光束減退特性に基づいて、照度補正を行っています。従って、新しいランプに交換される際、累積点灯時間をリセットする（累積点灯時間の記憶値をゼロにする）必要があります。

ランプ寿命となった場合（自動リセットについて）

この器具にはランプ寿命を判断する機能がついていますので、新しいランプへの交換と同時に自動的に累積点灯時間をリセットします。

後述の手動リセットは不要です。

ランプ破損などランプ寿命以外で交換される場合（手動リセットについて）

〈器具1台のみリセットする場合〉

- 1) 電源OFF、古いランプを取外す
- 2) ランプ取外し状態で、次の動作を3回繰り返す
電源ON (1秒間) → OFF (1秒間)
- 3) 新しいランプを取付け、電源ON

〈同一電源回路の器具と一斉にリセットする場合〉

- 1) 電源OFF、全ての器具を新しいランプに交換
- 2) ランプ装着状態で、次の動作を6回繰り返す
電源ON (1秒間) → OFF (1秒間)
- 3) 電源ON

手動によるリセット操作が正しく行われていれば、ランプ取り付け後の電源ON10秒後に調光開始します。

- ・停電などによる電源遮断時も累積点灯時間は保持されますので、自動初期照度補正機能は電源再投入後も正しく動作します。
- ・照明器具2台以下で、ほたるスイッチと組合わせて使用する場合、手動リセットが動作しない場合がありますので、スイッチは2箇所までとしてください。
- ・調光機器などとの組合せはできません。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機などの誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・反射笠には撥水・撥油コーティングを施していますが、切削油の種類によっては汚れが拭き取りにくい場合もあります。
- ・周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは、寿命が短くなります。
- ・周囲温度が約5～10℃で使用される場合、始動時に移動騒音が発生することがございますが、数秒～数十秒で解消致します。
- ・ランプが点滅する場合はランプ寿命をあらわしています。

■保証について

- ・保証について
この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。ランプなどの消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品の保有期間
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換

- ・器具の清掃について・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分をゆっくり軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損や反射笠変形の原因となります。
- ・ランプ交換について・・・本体指示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。
ランプ交換と同時にソケットキャップの交換をおすすめします。
(パナソニック製ランプをご使用ください。)

⚠注意

- 感電のおそれあり、ランプ交換時は必ず感電を切ってください。
- やけどのおそれあり点灯中や消灯直後はランプやその周りに触らないこと。

- ①ソケットキャップ（シリコンパッキン、リング付）をソケットから取り外す。
- ②ランプを下にずらして、ランプを取り外す。
- ③新しいランプにソケットキャップ（シリコンパッキン、リング付）をはめ込む。
- ④ランプをソケットの溝に入れ、奥まで差し込み確実に取付ける。
- ⑤ソケットキャップをソケットに確実に締付ける。

締め付けが不完全な場合、耐油性が損なわれ、絶縁不良または感電の原因となります。

G-Hf 蛍光ランプ	FHF63
ソケットキャップ	NZ0142H2

